

## キャリア教育単元計画

福山市立新市小学校

学年	第5学年	教科等	社会科	単元名	自動車をつくる工業			
連携企業等	(株)マツダ		単元時数	全6時間				
単元のルーブリック	評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体性				
	資質・能力		自己表現力	チャレンジ&チェンジする力				
	A	工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な努力をして、工業生産を支えていることを理解することができる。	消費者の需要や社会の変化にかかわる人々の働きを考えたり、工業の発展について、消費者の需要や社会の変化と関連付けて、選択判断したりして、自らの考えを振り返り適切に表現している。	我が国の工業生産について、自分の目標達成に向けて計画を立て、修正、再構築しながら最後までやりきろうとしている				
	B	工業生産に関わる人々は、優れた製品を生産するよう様々な努力をして、工業生産を支えていることを理解することができる。	消費者の需要や社会の変化にかかわる人々の働きを考えたり、工業の発展について選択判断したりして、自らの考えを振り返り適切に表現している。	我が国の工業生産について、自分の目標達成に向けて計画を立て、最後までやりきろうとしている				
C	工業生産に関わる人々は、優れた製品を生産するよう様々な努力をして工業を支えていることについて理解することができていない。	消費者の需要や社会の変化にかかわる人々の働きを考えたり、工業の発展について選択判断したりして表現することができない。	我が国の工業生産について、自分の目標達成に向けて計画を立て、最後までやりきろうとすることができない。					
次	時	学習活動	留意事項	○評価の観点 理・表・子は重点 知 思 主		評価方法	他教科等関連、 企業連携等	
1	1	○私たちと自動車のつながりについて知る。	・自動車工業の移り変わりが分かる写真や、日本の自動車の生産台数の変化などが分かる資料を提示し、自動車工業へ関心をもてるようにする。 ・自動車雑誌の編集者になったつもりで、「自動車作り特集号」の記事を書いていくことを伝える。			○	行動観察	
	2	○国内外での評価の高い自動車の作り方について学習課題を作り予想を立てる。	・「工夫」「行方」「開発」の視点を持って予想を立てる。 働く人はどんな工夫をしているのか。出来上がった自動車は、どのようにしてどこに行くのか。			○	ノート	
	3	○自動車工場・ミュージアムの見学をし、働く人たちの工夫や努力を考えよう。	・マツダミュージアム・組み立て工場を見学 自動車ができるまでの工程や働く人たちの作業の様子、生産に込められた工夫や努力、できた自動車の行方について調べる。			子 ○	ワークシート	(株)マツダ
2	4	○自動車工場や関連工場で働く人の工夫や努力についての記事を書く。	・「働く人の工夫や努力」について予想と比べまとめていく。 ・約 30000 個の部品からできていることそれらは関連工場で作られていることを押さえておく。 ・組み立て工場と関連工場のつながりがわかるような関係図を示す。			表 ○	ワークシート 記述	
	5	○完成した自動車の行方についての記事を書く。	・「完成した自動車の行方」という視点で予想と調べて分かったことをまとめる。 ・マツダの組み立て工場は広島港に面していることを確認し、全国の自動車組み立て工場の位置を地図で示し、なぜその場所にあるのか考えさせる。			○	ワークシート 記述	
	6	○自動車はどのように開発されているのかについての記事を書く。	・マツダの開発担当者の思いを振り返り、これから必要とされる自動車はどのようなものか意見を出し、予想と比べる。 ・消費者のニーズ、環境への配慮を考えた			○	ワークシート 記述	

			開発を行っていることに気づくようにする。					
--	--	--	----------------------	--	--	--	--	--

